

令和7年度古文書講座シラバス

初級 目標「簡単な古文書の文字がある程度読めるようになる。」

対象 初心者（経験5年以下）の方 ※初回は辞書の使い方など初歩的なガイダンス

	講師	内容
第1回	新井寛子	「楽しい古文書の学習をスタートしよう」 古文書を初めて学ぶ人のための講座です。古文書学習の基本を知り、古文書の表現にふれましょう。 ①活字を読んで、江戸時代独特の表現を知ろう。 ②辞書を使ってみよう。『くずし字用例辞典』『くずし字解説辞典 普及版』 ※インターネットが使える方は入門 Web 講座を視聴しておいてください。
第2回	新井寛子	「古文書によく登場する文字を読んでみよう」 ③古文書の基礎知識を学ぼう。（干支、時刻・方位、旧字・異体字、かな文字等） ④江戸時代の文書によく出てくる表現を知ろう。
第3回	黒岩 隆	「近現代の書簡を読んでみよう」 諏訪地方で活躍した考古学者・藤森栄一の書簡を中心に、近現代の文字の読解に挑戦します。
第4回	花岡康隆	「江戸時代の^{じかた}地方文書を読もう①」 江戸時代の村で作成された文書を地方文書と言います。諏訪市博物館所蔵の地方文書の読解に挑戦します。
第5回	新井寛子	「江戸時代の地方文書を読もう②」 諏訪市博物館所蔵の地方文書の読解に挑戦します。

☆諏訪市博物館・初級古文書講座

歴史館古文書講座・初級と同一内容の講座を諏訪市博物館にて実施します

中級 目標「テキストの文字を読み、内容についてある程度自力で把握（読解）できるようになる。」

対象 古文書初級講座を5年以上受講した方、または意欲のある方

	講師	内容
第1回	村石正行	「大名文書ことはじめー真田信之の文書を読んでみようー」 江戸時代の名名の代表的な文書を読んでみましょう。今回は松代藩主真田信之の発給文書です。独特の言い回しに注意しましょう。
第2回	村石正行	「江戸時代の農村と鉄炮の文書1」 豊臣秀吉が刀狩りをして農村から武器が消えた！本当にそうでしょうか。松代藩領内の地方文書の中から村の鉄炮の文書を選び出しました。いっしょに読み進めましょう。
第3回	村石正行	「江戸時代の農村と鉄炮の文書2」 第2回の続きを読みます。
第4回	中山 敦	「藩政資料を読もう1」 武家文書や地方文書を中心に、江戸時代の藩政を読み解いていきます。
第5回	中山 敦	「藩政資料を読もう2」 第4回目の続き、および関連文書を読み込みます。

上級 目標「難解な日記や書状を読解し、解釈ができるようになる。」

対象 中級以上のレベルをもっている方、または意欲のある方

	講師	内容
第1回	尾崎行也 先生	上田城下町問屋日記（抄） 当日配布分の資料を区分け分担して解読をすすめる。 終了前、次回分の資料を配布し解読担当者を決める。
第2回	尾崎行也 先生	上田城下町問屋日記（抄） 配布資料の担当者による解読発表。 終了前、次回分の資料を配布し解読担当者を決める。
第3回	尾崎行也 先生	上田城下町問屋日記（抄） 第2回と同一方式
第4回	尾崎行也 先生	上田城下町問屋日記（抄） 第3回と同一方式
第5回	尾崎行也 先生	上田城下町問屋日記（抄） 第4回と同一方式

ティーンズ 目標 「史料の読み方や、調べ方、史料の扱い方がわかるようになる。」

対象 大学生以下中学・高校生の古文書初心者の方で、歴史に興味のある方

	講師	内容
第1回 第2回	村石正行	ナマの史料に触れながら、古文書独特の文字（くずし字）を読んでみましょう。くずし字辞典を使ってみましょう。

☆古文書フォローアップ講座

対象 初・中・上級・ティーンズ講座・諏訪市博古文書講座 共通のまとめの講座です。

1年間学んできたことを思い出しながら受講しましょう。とくに、古文書講座は単に文字を読むことだけが目標ではありません。むしろそこから何を学び読み取ることができるか、が大切です。この講座は、「古文書を読む」ことからさらに「社会を読み解く」ことまでを思索するための「教養講座」です。

講 師 樋口和雄氏（元県立歴史館文献史料課長）

日 時 令和7年11月8日（土）13:30～15:00

☆古文書入門教室

対象 初めて古文書に触れる方で、古文書講座を受講したことがない方

実物の史料や辞書を活用して古文書に親しんでもらう講座です。

講師 新井寛子

日時 令和8年3月20日（金・祝）10:00～12:00

☆入門ウェブ講座のご案内

初級講座を受講される方で、初めて古文書に触れる方は入門ウェブ講座の視聴をお勧めします。当館HP、または右記QRコードよりご覧いただけます。

（アドレス：<https://www.npmh.net/event/webkouza.php>）

